



青柳園だより

令和2年
2月号
文京区立青柳幼稚園

豆まきで元気に春を！

園長 多比良 由恵

北風が冷たい冬、年長ゆり組の子どもたちは「氷はどこにできるのか？」と、いろいろな場所に水をはったバケツをおいて実験をしています。でも暖冬のせい、まだ氷はできていないようです。

さて、2月3日は節分です。希望の坂の入口にあるヒイラギの木は、今年の開園50周年記念に植えられました。今年の節分では、幼稚園に飾られ、園を守ってくれています。

ゆり組では、豆まきに向けてグループの友達と一緒に相談をして、鬼を作りました。「どんな鬼をつくるか？」「何色？」「角は何本？」「持ち物は？」など、話し合いながら取り組みました。できあがった鬼は、『ねぼすけ鬼』『のんびり鬼』『テレビ見過ぎ鬼』『テレビの時間守らない鬼』『おもちゃ片付けない鬼』です。

作っていく過程では、「パンツのシマシマはどうやってつける？」「テレビやリモコンも作りたい」など相談しながら、次々とアイデアが浮かんでいきました。「シマシマ模様が完成した！」と思ったら後ろもあることに気付いてちょっとがっかりし、また気持ちを新に挑戦したり…など、数日をかけて完成させていきました。

相談しながら取り組む協働的な活動は、年長5歳児の後半、とても大切な活動です。先日の青柳小学校 畑中校長先生の講話にも、「1年生の学習の中で、国語の時間は圧倒的に多く、国語の学習が全ての学習の基礎になる」というお話がありました。自分の思いや考えを伝えること、相手の話を聞くこと、考えや意見を出し合ったり、折り合いをつけたりすること…などの経験は、小学校での学習の基礎になっていきます。幼稚園の遊びや生活の中で、たくさん経験してほしいことです。

子どもたちが力を合わせ、個性豊かな鬼たちが出来上がりました。みんなで豆まきをしながら、自分の中のいろいろな鬼を追い払って、元気に冬を過ごし、春を迎えられるようにしていきたいと思います。



グループ毎に発表

開園50周年
記念樹のヒイラギ



<校庭改修工事のお知らせ>

令和2年度、7月から12月にかけて、青柳小学校校庭及び青柳幼稚園園庭と護国寺側ブロック塀の改修工事を行う予定です。児童・園児のみならず、保護者・地域の皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。